

4 めざそう！消費者市民社会

私たちの消費行動が、現在や将来にわたって日本や世界の社会情勢、地球環境に与える影響を自覚して行動する人を「消費者市民」と言います。私たち一人一人が「消費者市民」となり消費行動を通じて公正で持続可能な社会の実現に向けて積極的に参加していく社会を「消費者市民社会」と言います。

ボクの消費行動で社会が変わる…？

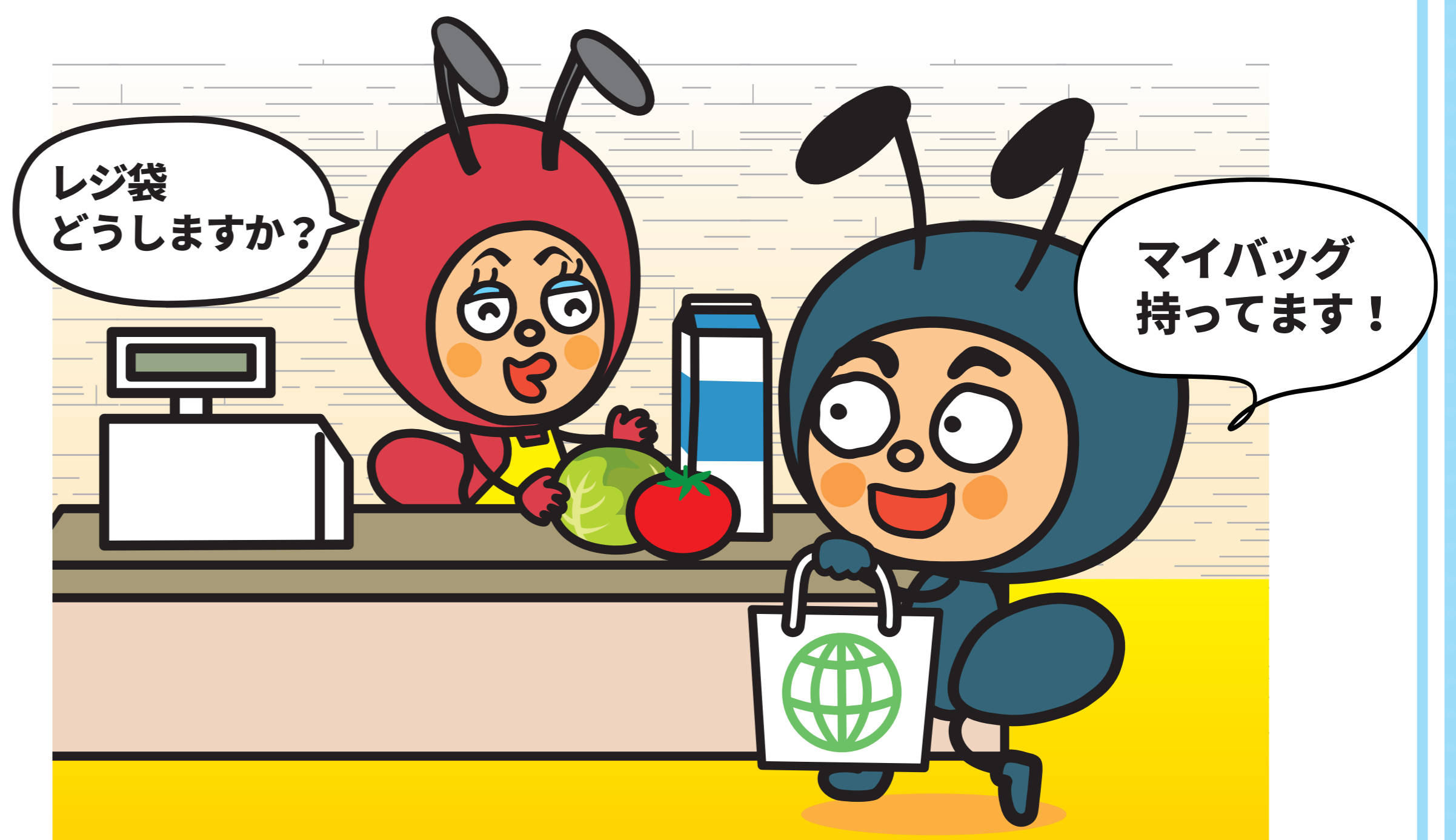


買いものするとき 消費者市民としての行動はどっち？

① 地元のお店を利用し
地産地消の商品を選ぶ



② 買い物には
マイバッグを持参する



地域や環境のことを考えて思いやりのある買いものをする人は消費者市民です。【答え：①②両方】

消費者市民社会をめざすためには？

良い商品・サービスを
選ぶ

消費者がよりよい商品を選択すれば、事業者は商品を改善し、悪質な商品やサービスは減っていきます。



環境、人、社会に「やさしい」商品を選ぶ

環境、人、社会に「やさしい」商品を事業者が積極的に販売するようになり環境問題や労働問題の改善、地域経済の活性化などにつながります。



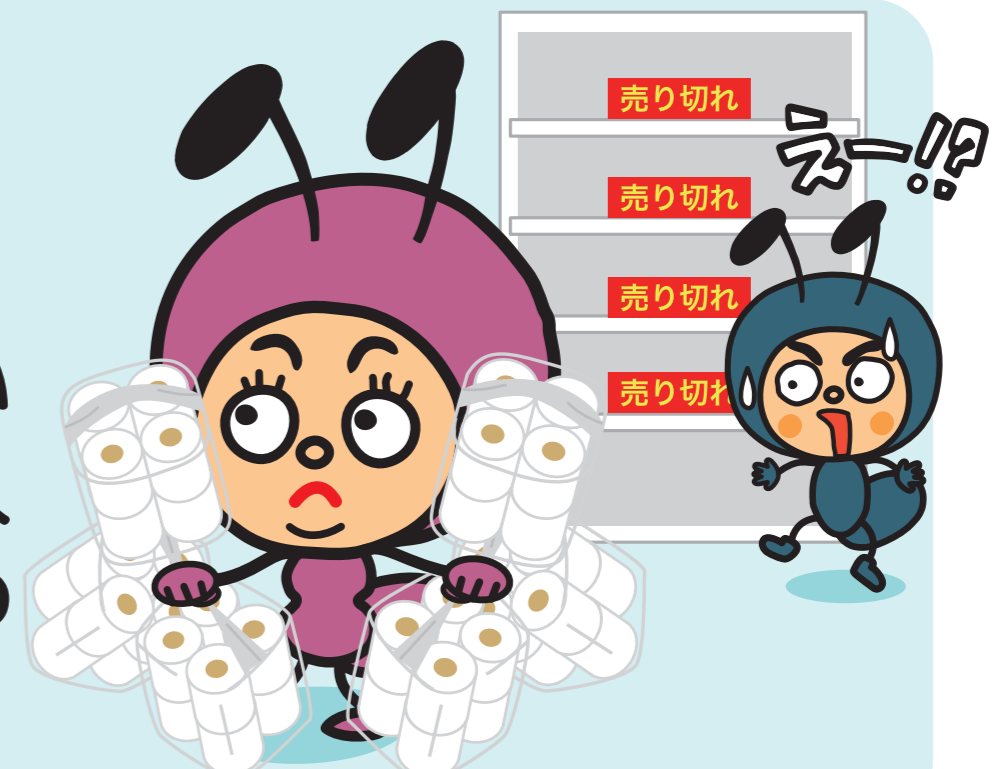
必要のない
サービスは断る

マイバッグを持参し、過剰な包装を断れば事業者も包装を簡素化しゴミの減少につながります。



必要なものを
必要な分だけ買う

多くの消費者が買いすぎないことを心がければ、必要な人に商品が行きわたり、資源の無駄を省くことができます。



みんなもできることから行動してみよう！



『エシカル消費』

エシカルとは“倫理的な”という意味の英語。言葉だけ聞くと、なんだか難しそうな印象がありますが私たちが日々何気なくしている食事や買い物などの“消費行動”に関わりがあります。エコやフェアトレードよりも間口は広く、環境はもちろん、人や社会、地域や動物に優しい製品やサービスを選ぼうという取り組みです。

こんなのアリ!?と思ったら...
あきらめないうで、まず相談!

消費者ホットライン

188



宮崎県消費生活センター

ホームページ こんなのアリ? 検索